

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① いとあはれなる夕暮れなりけり。
- ② 月の光のどかに照りて、心静かなり。
- ③ 静かなる山里に住みて、世を離る。
- ④ あたりは静かに、虫の音ばかり聞こゆ。
- ⑤ 庭の桜のいとあはれにて、人々涙ぐむ。
- ⑥ かの人、容貌うるはしく、心ばへもあはれなれば、皆したしむ。
- ⑦ 春の野ののどかなれど、夕風はやや寒し。
- ⑧ 川の水、漫々たり。
- ⑨ 城の構へ堂々たり。
- ⑩ 軍勢、堂々と進みて、敵を破る。
- ⑪ 大河、漫々として、果ても見えず。
- ⑫ 堂々たる大将のいでたち、いとたのもし。
- ⑬ 都はにぎやかなれども、ふるさと恋し。
- ⑭ 花やかなりし御代も、今は昔となりけり。
- ⑮ もののあはれは秋こそまされ。
- ⑯ 漫々たる海原を、ひとり舟にて渡る。

設問

1. 傍線部「あはれなる」(①)は、ナリ活用・タリ活用のいずれか。
2. 傍線部「あはれなる」(①)の活用形を答えよ。
3. 傍線部①「なりけり」の「なり」は、形容動詞の語尾か断定の助動詞か。理由とともに答えよ。
4. 傍線部「あはれなる」(①)の終止形(基本形)を答えよ。
5. 傍線部「いとあはれなる夕暮れなりけり」(①)を現代語訳せよ。
6. 傍線部「静かなり」(②)は、ナリ活用・タリ活用のいずれか。
7. 傍線部「静かなり」(②)の活用形を答えよ。
8. 傍線部「静かなる」(③)の活用形を答えよ。
9. 傍線部「あはれなれ」(⑥)の活用形を答えよ。
10. 傍線部「のどかなれ」(⑦)の活用形を答えよ。
11. 傍線部「のどかなれ」(⑦)の終止形(基本形)を答えよ。
12. 傍線部「漫々たり」(⑧)は、ナリ活用・タリ活用のいずれか。

13. 傍線部「堂々たり」(⑨)は、ナリ活用・タリ活用のいずれか。
14. 傍線部「堂々たり」(⑨)の活用形を答えよ。
15. 傍線部「城の構へ堂々たり」(⑨)を現代語訳せよ。
16. 傍線部「漫々として」(⑪)の「と」は何か。文法的に説明せよ。
17. 傍線部「堂々たる」(⑫)の活用形を答えよ。
18. 傍線部「堂々たる」(⑫)の終止形(基本形)を答えよ。
19. 傍線部「にぎやかなれ」(⑬)は、ナリ活用・タリ活用のいずれか。
20. 傍線部「都はにぎやかなれども」(⑬)を現代語訳せよ。
21. 傍線部「花やかなりし」(⑭)の終止形(基本形)を答えよ。
22. 次の傍線部のうち、形容動詞の連用形であるものをすべて選べ。
 - ア 月の光のどかに照りて (②)
 - イ あたりは静かに (④)
 - ウ 桜のいとあはれにて (⑤)
 - エ 軍勢、堂々と進みて (⑩)
23. 次の傍線部「なり」のうち、形容動詞の活用語尾(終止形)であるものを選べ。
 - ア 心静かなり (②)
 - イ あはれなる夕暮れなりけり (①)
24. ナリ活用とタリ活用の用例上のちがいを(どのような語に多く用いられるか)を、一文で簡潔に説明せよ。